

# きらりと光るアイランド みしま

第Ⅲ期三島村まち・ひと・しごと創生総合戦略



竹島



硫黄島



黒島

令和7年4月1日  
鹿児島県三島村



# 目 次

1 総合戦略策定の考え方	1
(1) 背景と目的	1
(2) 人口ビジョンにおける将来展望	4
(3) 三島村のこれまでの取組と戦略策定の考え方	6
2 基本方針	7
3 基本目標と主要施策	8
(1) 基本目標①稼ぐ地域をつくとともに、安心して働ける ようにする	8
(2) 基本目標②地方とのつながりを築き、島への新しい人の 流れをつくる	10
(3) 基本目標③結婚・出産・子育ての希望をかなえる	12
(4) 基本目標④人が集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域を つくる	13
4 計画の推進に向けて	16

# 1 総合戦略策定の考え方

## (1) 背景と目的

三島村は、薩摩半島南端の長崎鼻から南南西約 40km に位置する、竹島・硫黄島・黒島の3島からなる集合村で、2020 年の国勢調査の人口は 405 人です。これは、鹿児島県内で最も小さな自治体です。

2025 年 2 月 1 日現在（住民基本台帳ベース）の人口は 349 人と年々減少しています。

国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という。）の地域別将来推計人口では、今後についても漸減傾向が続き、2050 年には 219 人まで落ち込むと推計され、人口減少は村政において最重要課題となっています。

国では、昨年 2024 年は地方創生取組が本格的に始まって 10 年の節目になりますが、人口減少や東京圏への一極集中などの大きな流れを変えるまでには至っておりません。人口減少化については、希望をもって住み続けることができる持続可能な地域づくりを進めるため、従来の取組を超える新たな発想に基づく施策を検討・実行していくこととし、1 人 1 人が多様な幸せ(well-being)を実現する社会を目指すことが重要としているところであります。したがって、地方自治体には過去にとらわれない、それぞれの特徴を生かし、新しい意味での地方創生に向けた取り組みを求めています。

平成 27 年 10 月に総合戦略を策定し、第Ⅱ期の検証を踏まえたうえで、第Ⅲの人口ビジョンや総合戦略の策定を行いました。

三島村人口ビジョン（以下、人口ビジョンという。）では、人口の現状分析等を行い、村が存続し、発展していくための人口の将来展望として、2030 年では 401 人、さらに 2040 年に 421 人まで回復することを目標としています。

この第Ⅲ期三島村まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、総合戦略という。）では、人口減少問題の克服と村の成長力を持続的に確保し、“小さくてもきらりと光る村づくり”（きらりと光るアイランド みしま）の実現に向けて、当面は 2029 年までの基本目標を掲げ、主な重要業績評価指標（KPI）を設定し、戦略的な施策をとりまとめているものです。

総合戦略は、村民をはじめとして産官学金労言等の多様なプレーヤーとの連携のもとで立案・実践し、評価・改善・見直し（PDCA サイクル）について引き続き進めることとし、「政策の 5 原則」（自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視）の趣旨を踏まえて、積極的に展開してまいります。

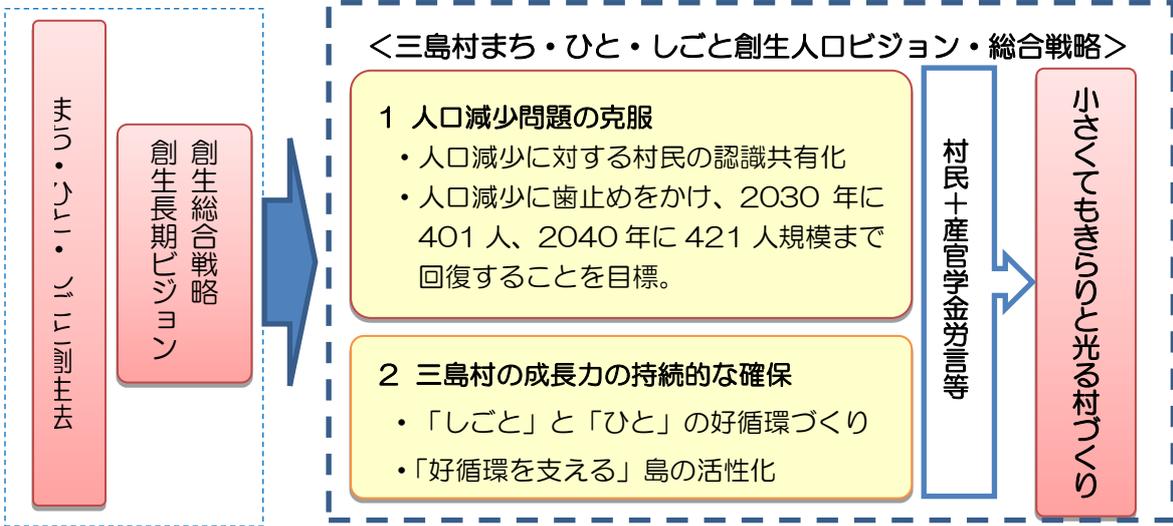
【三島村の位置・各島の概要】



- 三島村は、竹島、硫黄島、黒島の三つの島から成り、東南に種子島、屋久島が横たわり、南にトカラ列島、西に草垣群島を望む位置にあります。
- 他にない特殊な自然環境と歴史・文化的資源の保存と活用が評価され、2015年9月に日本ジオパークに認定されました。
- 2022年4月には、みしま県立自然公園(2159ha)に指定されました。
- フェリーみしまが週4便運航し、1泊2日の航海が2便、日帰り片道航海が2便運航しています。
- 役場は鹿児島市に置いています。

島名	特徴
竹島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲 12.8 km、面積 4.22 km<sup>2</sup>で、最も高い山でも 220m という平坦な島で、竹島という名のごとく島全体が竹に覆われた畜産の盛んな島である。</li> <li>・豊富な竹林から取れる竹の子の王様「大名筍」は、村の特産品に加工され、その味の良さから来村者のお土産に喜ばれている。</li> </ul>
硫黄島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの島の間位置し、周囲 19.1 km、面積 11.62 km<sup>2</sup>、椿、つつじ、車輪梅の原生林や、野生化した孔雀が街中を闊歩するのどかな風景が見られる島である。</li> <li>・西アフリカの伝統的な打楽器ジャンベを通じた国際交流が展開されている。</li> <li>・歌舞伎中村屋による野外歌舞伎「俊寛」、及び梅若玄祥師による三島村新能「俊寛」がこの島で上演され、話題となった。</li> <li>・硫黄島八朔太鼓踊りに登場するメンドンがユネスコの無形文化遺産となった。</li> </ul>
黒島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周囲 20.1 km、面積 15.39 km<sup>2</sup>、標高 622m の櫓岳を最高峰に、500m 級の山々がそびえ、断崖絶壁の海岸線には、無数の滝が見られる森林と大名竹に覆われた自然豊かな畜産の盛んな島である。</li> <li>・東西に大里と片泊の二つの集落があり、村の人口の約半数が居住する。</li> <li>・自然が豊かな環境にあることから国指定の天然記念物の植物群落がある。</li> <li>・昭和 34 年、作家有吉佐和子さんが朝日新聞に連載した小説「私は忘れない」の舞台で、昭和 35 年に映画化された地である。また、戦時中の特攻秘話等がある。</li> <li>・最近では、縄文時代の土器の破片が発掘されるなど歴史的価値が高まっている。</li> <li>・平成 30 年公設公営の焼酎蔵「みしま焼酎 無垢の蔵」が建設され、令和元年 5 月 1 日に新酒の初蔵出しを行った。今後、地域の一大事業として期待されている。毎年 1,000 万円以上の売り上げがあり、今後、知名度の向上を図り、さらなる売上げ増額が期待される。</li> </ul>

【総合戦略策定の背景と目的（展開図）】



## (2) 人口ビジョンにおける将来展望

将来の人口は、人口の現状と課題からみた基本的な視点を踏まえつつ、社人研推計準拠を基準指標として展望しています。

### ■ 人口の現状と課題からみた基本的な視点

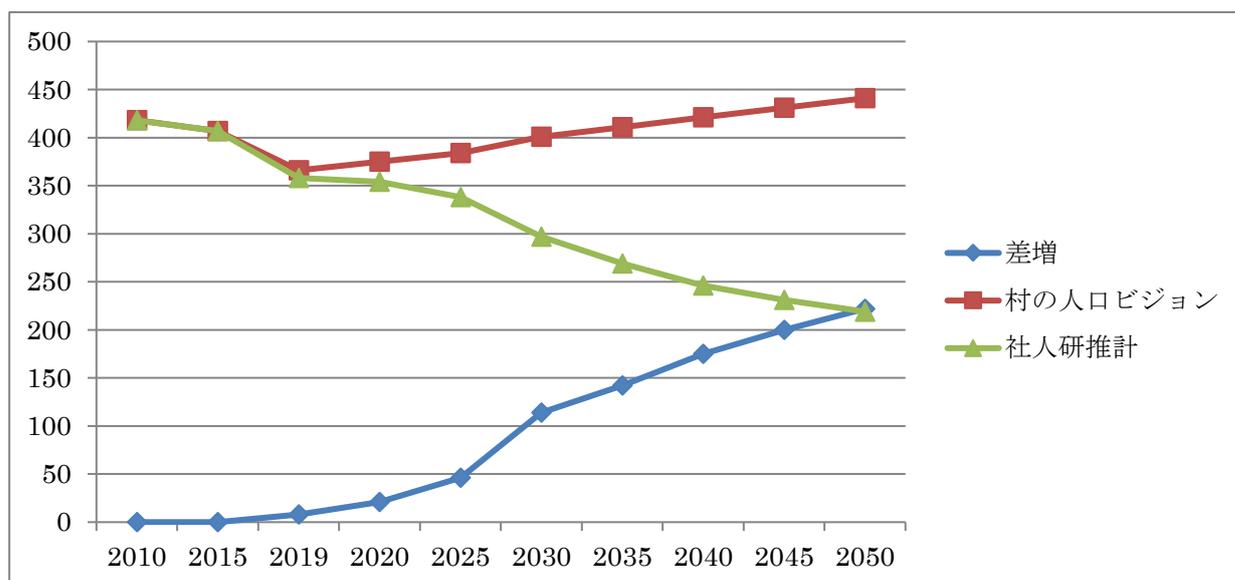
- ①各島に人が住み続け、地域社会の基盤を維持・活性化できるような人口規模の拡大
- ②産業振興と雇用創出による社会増への取組推進
- ③若い世代の定住と子育て環境の改善による出生数の増加
- ④しおかぜ留学制度による児童・生徒の計画的な受け入れと拡充
- ⑤村民が長く住み続けたいくなるような満足度の向上
- ⑥人口の将来展望に対応する住宅政策の拡充

### ■ 人口の将来展望

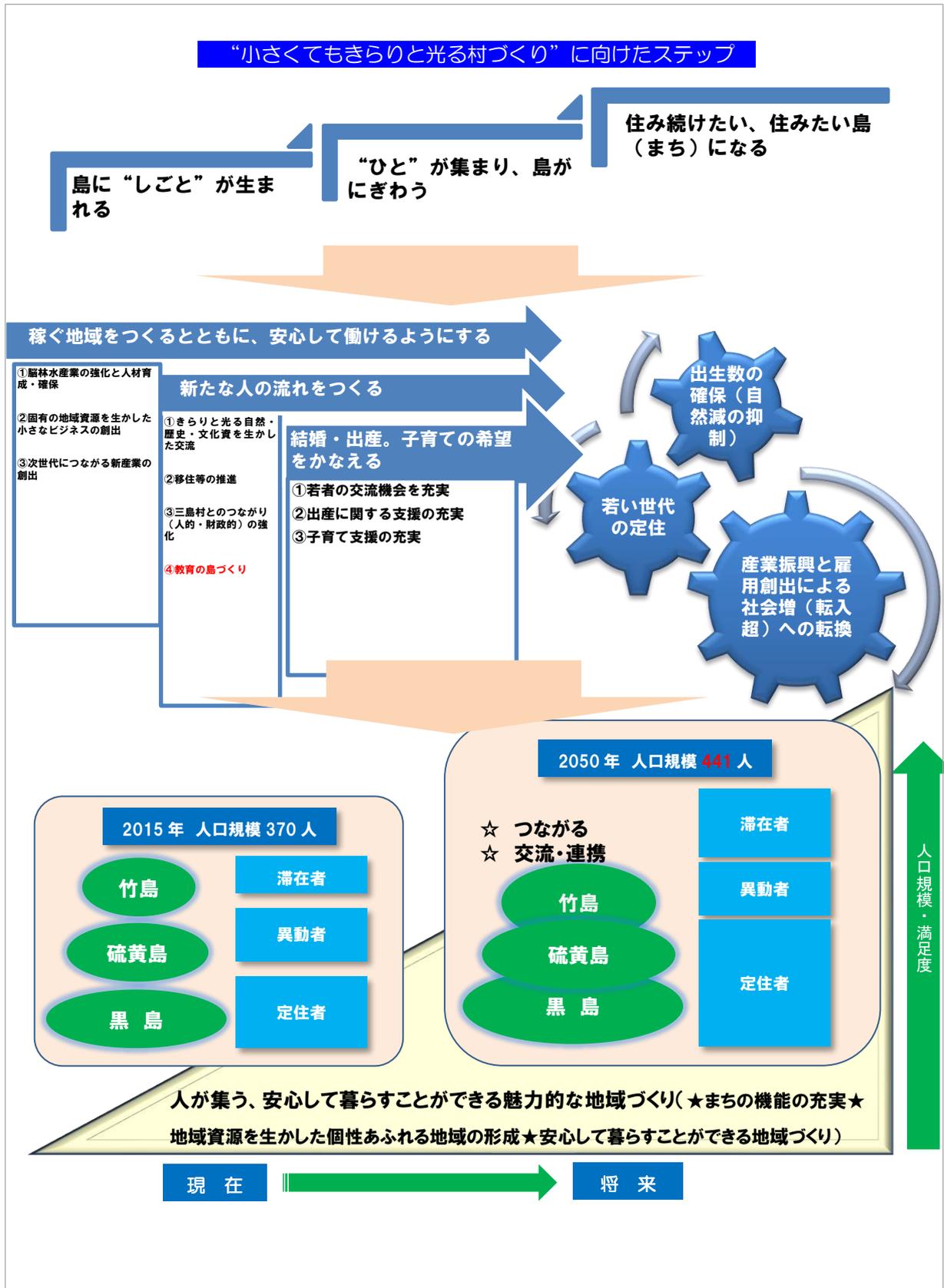
三島村が目指すべき人口規模を、2030年に401人、2040年に421人、2050年に441人と展望し、人口減少に歯止めをかけ、各島の地域社会の基盤を維持できるような人口規模の拡大を目指します。

三島村将来人口推計

年	2010	2015	2019	2020	2025	2030	2035	2040	2045	2050
社人研推計	418	407	358	354	338	297	269	246	231	219
村の人口ビジョン	418	407	366	375	384	401	411	421	431	441
差増	0	0	8	21	46	104	142	172	200	222



人口増加の展開イメージ図



### (3) 三島村のこれまでの取組と総合戦略策定の考え方

三島村では、2010年度（平成22）から2019年度（平成31）までの10年間を計画期間とする第4次三島村総合振興計画において、「多様化する住民の要望に応えつつ、小離島といえども、三島村のみが持つ優位性と特性を更に探究し、その潜在能力を掘り起こして、健康で豊かに安らげる三島村に創生する道を開き、発展させる」との方針をかかげ、各種施策を展開してきました。そうした活動のなかから、ICT推進のベースとなる高度情報通信ネットワークの構築や三島村・鬼界カルデラジオパーク認定、硫黄島八朔太鼓踊りに登場するメンドンのユネスコ無形文化遺産登録等、三島村のみが持つ優位性と特性を生かせる分野も生まれています。

2015年10月には、きらりと光るアイランドみしま 三島村まち・ひと・しごと創生【人口ビジョン】【総合戦略】も策定し、本村の基本計画としているところである。

Ⅲ期総合戦略の策定においては、Ⅱ期の総合戦略の評価検証を踏まえ、かつ国の地方創生の考え方を勘案しつつ、基本目標についてはⅡ期の目標をさらに深く実現可能なものとするために同様に掲げて、村民の各分野の取組に対する満足度及び重要度を参考にしながら、具体的な施策を展開します。

#### 第4次三島村総合振興計画における基本方針

- I. 無垢の自然が息づくかけがえのない郷土を建設する村づくり
- II. 島の特性を生かした産業振興を進める村づくり
- III. 健康と福祉の村づくり
- IV. 定住交流と人材を育てる村づくり
- V. 創造性と自立心を高める村づくり
- VI. 効率行政を進める村づくり
- VII. 水害、風害その他の災害を防除するために必要な国土保全施設等の整備



※好循環を支える、まちの活性化  
※「しごと」と「ひと」の好循環づくり

#### 【基本目標 Ⅱ期・Ⅲ期】

- I 移ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする
- II 都市部とのつながりを築き、新たなひとの流れをつくり、しおかぜ留学を推進するための教育の島づくり
- III 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- IV ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

## 2 基本方針

Ⅱ期と同様に、以下の4つの基本目標を設定し、“小さくてもきらりと光る島づくり”に取り組み、「きらりと光るアイランド みしま」の創生を目指します。当面の目標として、令和7年度（2025年）から令和11年度（2029年）までの5年間を短期目標として設定し、施策を展開します。

### 目指す姿と4つの基本目標

「きらりと光るアイランド みしま」の創生  
小さくてもきらりと光る村づくりを目指して

#### 基本目標① 稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

- 農林水産業の強化と人材育成・確保
- 固有の地域資源(自然資源)を生かした小さなビジネスの創出
- 次世代につながる新産業の創出

#### 基本目標② 都市部とのつながりを築き、新たなひとの流れをつくり、しおかせ留学を推進するための教育の島づくり

- きらりと光る自然・歴史・文化資源を生かした交流促進及び3つの島の連携と南薩地域との連携
- 移住等の推進及びアイランドキャンパスづくり等、教育の充実
- 三島村とのつながり（人的・財政的）の強化

#### 基本目標③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

- 若者の交流機会を創出
- 出産に関する支援の充実
- 子育て支援の充実

#### 基本目標④ ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

- 質の高い暮らしのための地域の機能の充実
- 地域資源を生かした個性あふれる地域の形成
- 安心して暮らすことができる地域づくり

### 3 基本目標と主要施策

#### (1) 基本目標①

稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

#### 【数値目標】

指 標	基 準 値	目標値 (R11 年度)
農林水産業生産額	123 百万円	127 百万円

#### 【基本的方向】

三島村の主要な産業は、教育関係を除けば、畜産を主とする農業、公共工事を主とする建設業、民宿を主とする宿泊業が中心となっています。小規模離島のため産業基盤が極めて脆弱で、また、高齢化により廃業する事業者もみられ、農林水産業等の産業基盤の強化と人材の育成・確保が急務となっています。特に畜産業にあっては、兼業経営から専業経営への取り組みが重要な課題となっています。また、三島村・鬼界カルデラジオパークやメンドンのユネスコ無形文化遺産など、観光業を支える資源の利活用も課題であります。

椿油関連商品や大名筍、海産物、黒島みかんを使った菓子などの特色ある特産品が生まれ、このような固有の地域資源(自然資源)を生かした小さなビジネスを島民の発想や高齢者の知恵を活かしながら創出することを推進します。

さらに、2018年10月に黒島に公営の焼酎蔵を建設し、翌年5月から村内産のサツマイモと黒島の清らかな水で製造された「焼酎みしま村」の販売をスタートしております。

2020年からは、硫黄島で採れたサツマイモを使って「メンドン」という銘柄も販売開始となっています。今後は、焼酎みしま村とメンドン合わせて10キロリットル生産に向けて原料サツマイモの増産が重要です。また、新たな雇用の受け皿として期待されています。

硫黄島では、椿の実の搾油事業や竹林オーナーの整備管理を中心に事業展開する会社が設立されました。このような新たな産業の開発等を積極的に進め、魅力ある雇用の場の創出を目指します。

## 【具体的な施策・取組内容と重要業績評価指標（KPI）】

### ① 林水産業の強化と人材の育成・確保

《KPI》

	基準値	R11 年度
農林水産業生産額の増額後	123百万円(畜産含む)	127百万円(畜産含む)
認定農家	—	5戸
大名たけのこの収穫	260万円	▲110万円
ツバキの実収穫	60万円	190万円
サツマイモの収穫	120万円	30万円
漁業水揚げ額	800万円	900万円

《具体的な施策・取組内容》

- (ア) 畜産農家の経営規模拡大と施設の整備
- (イ) 畜産農家の生産計画の策定支援
- (ウ) 大名筍の収穫の増加
- (エ) ツバキの実の収穫の増加
- (オ) サツマイモの収穫の増加
- (カ) 漁場づくりと蓄養による不安定操業環境からの脱却

### ② 固有の地域資源を生かした小さなビジネスの創出

《KPI》

	基準値	R11 年度
新たな特産品の開発件数	—	0.5件/年増

《具体的な施策・取組内容》

- (ア) 特用林産物を使った新たな特産品の開発  
レトルト食品の商品化、保湿クリーム等の製造・開発など
- (イ) 各地区で食べられていた加工品の製品化  
地区、漁協等と連携し、加工品の製品化を推進、島民や高齢者が参画し、知恵と新たな技術で事業展開
- (ウ) 加工拠点施設整備

### ③ 世代につながる新産業の創出等

	基準値	R11 年度
みしま焼酎無垢の蔵の経営安定化	7.2キロリットル製造販売	10キロリットル製造販売

産業統合会社の経営の安定化雇用確保	常勤雇用0人	常勤雇用1人
-------------------	--------	--------

《具体的な施策・取組内容》

(ア)「焼酎みしま」の島内生産 焼酎の増産および販売促進 (イ) 産業統合会社の経営の安定化
--

(2) 基本目標②

都市部とのつながりを築き、新たなひとの流れをつくり、しおかぜ留学を推進するための教育の島づくり
---

【数値目標】

指 標	基 準 値	目標値 (R11年度)
新規移住者数	—	27人

【基本的方向】

3つの島はそれぞれの成り立ち、自然環境は異なりますが、先祖から受け継がれた歴史・文化があり、それが固有の観光資源となっています。また、毎年30艇以上のヨットが全国各地から参加する「MISHIMA CUP」ヨットレースや、西アフリカの打楽器ジャンベを使ったワークショップなど独自の行事が開催されており、2018年には硫黄島の八朔太鼓踊りに登場する来訪神メンドンがユネスコ無形文化遺産に登録されました。

2015年9月には、特異な自然環境と歴史・文化的資源の保存と活用が評価され、日本ジオパークに認定されました。これを契機に三島村の認知度が高まり、観光客や探究心のある来島者の増加が期待されています。ジオパーク活動では、三島村の新たな魅力と観光資源を発掘するだけでなく、地域資源の保全や文化の継承を行い、観光や教育などで活用するまでを一貫して行っています。

ジオパーク事業をはじめ観光、産業、文化、教育、広報など様々な分野を横断的につなぐことで効率的な行政運営を図り、多様な来島者のニーズに対応した新たな人の流れをつくります。

このように個性ある3つの島への新たな人の流れが生まれつつありますが、地方から都市部への人口流失について、「常に都市と地方の人口が循環する流れをつくる」という発想から、「しおかぜ留学」についても都市部からの受け入れを積極的に行っていくことが重要であります。しおかぜ留学生は村の人口増減に大きく影響していることと、地域行事

等への参加で地域活性化にも大きな役割を果たしていることから、これを円滑に推進するためには、宿泊施設等(しおかぜ留学宿舍含む。)を計画的に整備し、それらを支える人材確保も不可欠であります。

また、島に移住する若者等への定住助成制度の充実と住宅の環境確保並びに専門人材としての地域おこし協力隊を積極的に受け入れ、こうしたことを側面的に支援する施策として、人的・財政的支援を可能にする関係人口等の強化に努めてまいります。

### 【重要業績評価指標（KPI）と具体的な施策・取組内容】

#### ①きらりと光る自然・歴史・文化資源を生かした交流促進

《KPI》

	基準値	令和11年度
観光目的乗船者数	1050人/年	1500人/年
新規イベント参加者数	20人	100人
宿泊施設数(しおかぜ留学宿舍含む。)	民宿10軒	民宿等13軒

《具体的な施策・取組内容》

(ア) ジオパークを活用した観光交流の拡大 ジオツーリズム、体験ツアーの実施(船釣り、ダイビング、カヤック等)
(イ) 観光ツアー等の開催 地域に受け継がれる伝統芸能のツアー企画化
(ウ) 多様なニーズに応える宿泊施設の整備

#### ②移住等の推進

《KPI》

	基準値	R11年度
住宅の整備	---	5戸
既存村住の計画的改修	2戸	10戸
地域おこし協力隊受入	2人配置	8人配置
農林水産業者受入	0人	5人
特定地域づくり事業協同組合設立	---	7人

《具体的な施策・取組内容》

(ア) 村営住宅の計画的な整備
(イ) 村営住宅の現況調査に基づき必要な改修を計画的に行い、住環境の改善を推進

- (ウ) 地域の産業等を支援するための地域おこし協力隊を各地区に適切配置
- (エ) 農林水産業の振興を図るため、島外からの従事者の受け入れの推進
- (オ) 地域住民が急減しているため、地域産業の担い手を確保するための組合の設立

③三島村とのつながり（人的・財政的）の強化

《KPI》

	基準値	R11 年度
ふるさと納税寄付金	800 万円	2400 万円

《具体的な施策・取組内容》

- (ア) ふるさと納税の強化
  - ・ふるさと納税の返礼品の拡大等を通じて寄付金の大幅拡充を目指す
  - ・企業版ふるさと納税の拡充を目指す

(3) 基本目標③

結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【数値目標】

指 標	基 準 値	目 標 値 (R11 年度)
新規子育て世帯数	-	5 世帯（累計）

【基本的方向】

三島村の出生数は、近年では 0～3 人で推移しており、死亡者数を下回り、自然減が続いています。また、村民アンケートでも、子どもを 1 人より 2 人、2 人より 3 人と希望する意向はあるものの、経済的な要因や保育サービスなどの支援体制が不十分との理由で出産に踏み切れないことがうかがえます。

こうしたことから、将来的には年間 2～3 人の出生を実現していくため、若い世代の交流機会の創出や医療や子育て環境が十分でない島での出産、子育てに関する不安の解消と支援を実施します。

## 【重要業績評価指標（KPI）と具体的な施策・取組内容】

### ①若者の交流機会を創出

#### 《KPI》

	基準値	R11 年度
婚姻届け数	—	3組（累計）

#### 《具体的な施策・取組内容》

（ア）独身者を対象とした出会い交流機会の提供

### ②出産に関する支援の充実

#### 《KPI》

	基準値	R11 年度
出産支援件数	4件	5件/年

#### 《具体的な施策・取組内容》

（ア）定期健康診断の支援  
（イ）出産準備支援

### ③子育て支援の充実

#### 《KPI》

	基準値	R11 年度
教育・保育施設の一体的運用	0か所	1か所

#### 《具体的な施策・取組内容》

（ア）小規模保育所の整備と保育士の確保

## （4）基本目標④

ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

## 【基本的方向】

三島村は、竹島、硫黄島、黒島の3島によって構成されており、役場本庁が行政エリアにない特異な村です。鹿児島と各島のアクセスは、海路のみであり、フェリーみしまが毎週、日帰り便2便と1泊2日便2便の計4便を運航しています。

空路は、現在休止中ですが、硫黄島に場外離着陸場を整備し再開を目指します。

2017年4月から「有人国境離島地域の保全及び特定有人国境離島地域に係る地域社会の維持に関する特別措置法」が施行されたことにより、村民等の航路及び空路の運賃が割り引かれることとなりました。料金の低減化により、利用しやすい環境になりましたが、運航等は天候に左右されることが多く、各港の整備が課題となっております。

島内の村道等の安全な走行環境を確保する観点から計画的な維持補修等を行います。

一方で、固有の自然や歴史、文化を学び、体験するニーズが高まるなかで、小中学校の一時期を三島村で過ごしたいとする児童生徒をしておかせ留学制度で受け入れており、子供の成長に有益であることから拡充が期待されています。

三島村、三島村教育委員会と大学が提携して教師を目指す学生を村の義務教育学校に受け入れ、離島における教育及び生活体験・交流等を通して三島村の教育課題の解決に資する活動を展開してもらい「元気みしま村」の具現化を図っていきます。

「三島村・鬼界カルデラジオパーク」は4年目に再認定審査を受けることになっております。日本ジオパーク委員会から示された課題への対応に努めることが重要です。

地域の特色としてジャンバスクールを開設しており、ジャンベの振興も必要です。

離島で生活する村民は、医療や介護・保健サービスをはじめとして、本土では想像できない不自由さの中にいます。また、限られたコミュニティのなかで、交流機会も少なく、安定した収入の確保にも難しさがうかがわれ、島を離れたいとする傾向もあります。また、島で使用する自動車の燃料は鹿児島から個人が取り寄せていますが、安全安心の観点から島で購入可能な環境の整備が求められています。

村役場が鹿児島に所在することから、3つの島の4地区に、それぞれ村の出張所をはじめ、学校、診療所、コミュニティセンター、港湾施設等を設置し、職員を配置するなど島民の利便性の確保に配慮しています。また、地理的に台風の常襲地帯であり、防災対策は常に大きな課題となっています。

住み慣れた地区で村民が健康で豊かに安らげるように、ICTの活用により村民一人一人がつながる関係の構築や、人的・物的つながりが長年にわたり構築されている鹿児島市との連携等を通じて、豊かさを享受できる環境づくりに取り組みます。

また、教育環境の充実とともに、しおかせ留学生を受け入れる里親の確保やしおかせハウスの整備等を通じて雇用の場の創出を行います。

## 【重要業績評価指標（KPI）と具体的な施策・取組内容】

### ① 質の高い暮らしのための地域の機能の充実

《KPI》

	基準値	R11 年度
フェリーみしまの就航率	88%	90%
ガソリンスタンド整備	1 か所	2 か所
村道舗装改修	600m	整備距離 3,000m

《具体的な施策・取組内容》

#### (ア) フェリーみしまの計画的運航

フェリーみしまにおける鹿児島～三島～枕崎航路の安全かつ安定的な接岸を確保するため、村管理港である竹島港、大里港、片泊港の市町村管理港の整備

<p>を推進</p> <p>(イ) 島内道路（村道・林道・農道）の整備 住民の生活道路として利用されているため、災害に強い道路環境整備や強化を促進</p> <p>(ウ) 島民の安全・安心の確保 現在硫黄島にガソリンスタンドを整備しているが、竹島・黒島はガソリンスタンドがないことから個々にガソリン等を確保している。安全・安心の確保の観点から、全島にガソリンスタンドの整備を進める</p>
---

## ②地域資源を活かした個性あふれる地域の形成

《KPI》

	基準値	R11 年度
しおかぜ留学生	23人	40人
ジオ・歴史文化ガイド数	0人	10人
ジャンベ留学生の増員 (通年配置)	—	10人/年
里親	7戸	9戸

《具体的な施策・取組内容》

<p>(ア) しおかぜ留学生の受入拡大</p> <p>(イ) ジオパークに関する村民研修会の開催とジオガイドの養成・研究活動推進</p> <p>(ウ) 義務教育学校の充実・強化及び特色ある教育の推進</p> <p>(エ) ジャンベの振興</p>
--

## ③ 安心して暮らすことができる地域づくり

《KPI》

	基準値	R11 年度
常駐看護師の複数配置	各1から2人	各2人
避難所機能の充実	3日分	非常食等の1週間分配置
地域担当職員の設置	—	各地域と職員との連携

《具体的な施策・取組内容》

<p>(ア) 診療所機能の充実</p> <p>(イ) 地域防災機能の確保</p> <p>(ウ) 日常生活用具等の給付及び貸与</p> <p>(エ) 各種在宅サービス等の推進</p> <p>(オ) 村民の自助・共助の助け合いネットワークの形成及び村民と職員との連携</p>
---

## 4 計画の推進に向けて

人口規模が極めて小さい三島村において、総合戦略を推進していくためには、まず3つの島、4つの地区の村民と行政が人口減少を克服し、地域を創生推進するという意識の共有化が最も重要です。そのうえで、村民が主体となり、国、県および村の支援を受けながら、官（行政）だけでなく、産業界、大学、金融機関、労働団体、メディアの産官学金労言の連携のもと、積極的に推進する必要があります。

特に、村の職員にあっては、これまで以上に島民の主体性発揮のため、必要な支援のあり方等を工夫するとともに、そのために必要な資質向上に努めることが求められます。

また、総合戦略の進捗管理においては、PDCA（Plan-Do-Check-Action）サイクルの実践によるものとし、年度ごとに事業の選定、実施方法等の検討、事業の予算化、実施に取り組みます。さらに、事業実施後もその効果を測定・検証し、事業の改善、進捗状況等によっては、基本戦略についても、見直しを行います。このため地域担当職員と地域住民との連携を密にして、三島村人口減少対策会議を定期的を開催し、PDCAサイクルを確実にものとします。

なお、財政状況や社会経済環境の変化に柔軟に対応し、より一層、村民の声も参考にしながら総合戦略の見直しを適宜行ってまいります。

【総合戦略推進に向けた体制イメージ図】

